

三浦半島のビシアジ 中型主体に数釣り継続中

三浦半島久比里出船 撮影●粕川晃

★三浦半島のビシアジは食べごろサイズを主体に好調継続中だ



▶巴之助丸では付けエサはアカタンとアオイソメ、両方が用意される



▲釣り場は観音崎沖周辺の水深60~70メートル前後



▲釣れてる時間帯に手返しよく釣っていかう



▲好調時にはトリプルもあった



▲船長の指示ダナは底上3~4メートル
▶巴之助丸は一日船なので釣り時間はたっぷり
▼潮が速い日も多いのでタナ取りがキモになる



▲今や貴重品のサバも交じった



▼連日トップは60~80尾ほど釣れている



▲常連さんは底上4~5メートルと高めのタナを狙って102尾

本来、春のアジ釣りは一年で最も厳しくなる時期。それでも好調に釣れているのは高温の影響と、深場へ落ちずに水深60~70メートル前後で食い続けていたため。

三浦半島久比里の巴之助丸より出船した取材日も観音崎沖の水深65メートル前後を狙い25センチ前後の中型主体にトップは余裕の束超え。4月になると一時的に食い渋ることも考えられるが、それも杞憂に終わらせよう。現在の勢いだ。(詳細は52ページ参照)

●三浦半島久比里・巴之助丸 白井 功一船長